



2013年がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査

- 概要報告 -

日時 2015年9月8日(火) 10時00分 - 12時30分

※ 受付開始時刻は9時30分です。

会場 丸の内トラストタワーN館11階 (東京駅 日本橋口より 徒歩1分)

トラストシティ カンファレンス・丸の内 Room3+4

東京都千代田区丸の内1-8-1 TEL: 03-6212-5211

主催 静岡県立静岡がんセンター ・ 静岡県 健康福祉部

参加費 無料、定員 150人

概 要

2003年、「がんの社会学」に関する研究グループは、がんサバイバー研究の一環として、全国のがん診療連携拠点病院や患者団体と共同し、7,885名のがん体験者を対象としたアンケート調査により悩みや負担を収集し、分析しました。このようなテーマで、がん体験者を包括的に調査した研究は世界的に見ても例がなく、がん体験者の悩みや負担の全貌が明らかとなり、また、心の悩みや就労問題など多くの新たな課題が抽出されました。科学的には、その分類法として“静岡分類”が確立され、また、多くの研究成果は、がん対策基本法や推進基本計画の制定、拠点病院の運用、新たな診療報酬、患者支援活動、企業のサービス向上などに生かされています。

その後、第二次調査を企画し、前回調査から10年が経過した2013年、ほぼ同一内容のアンケート調査を全国の拠点病院等の医療機関、患者団体、静岡県等の協力を得て実施し、4,000名あまりのがん体験者から回答を得ることが出来ました。この度、その中間解析がまとまりましたので、報告会を実施いたします。今回は、1) がん対策基本法や推進基本計画ががん患者の悩みや負担の改善にも役立っているか、2) 2013年時点でのがん体験者の悩みや負担の実態、の二点にスポットを当てて調査結果を報告し、それを今後のがん対策に活かすため、討議を進めたいと思います。

なお、本実態調査は、厚生労働科学研究費補助金「第3次対がん総合戦略研究事業」(2012年度)により、計画を開始いたしました。

プログラム

10:00-10:30

「がん体験者の悩みや負担等に関する実態調査」
-がんサバイバー研究のあるべき姿-

山口 建 (研究代表者)

(静岡県立静岡がんセンター総長、
厚生労働省 がん診療連携拠点病院等の指定に関する検討会座長、
厚生労働省 がん対策推進協議会委員)

10:30-11:30

研究結果の概要

- * 研究方法
- * 2003年と2013年の比較
- * 2013年における悩みや負担の実態
- * がんサバイバーに必要な情報と支援

石川 睦弓

(静岡県立静岡がんセンター研究所 患者・家族支援研究部 部長)

11:30-12:30

自由討論 -がん対策推進のために-

静岡がん会議 サテライトフォーラム <第1部>

FAX番号 055-989-5793

参加申込書

ふりがな

●機関名：
(団体名) _____

●所属部署（役職名）： _____

ふりがな

●氏名： _____

●連絡先

電話番号： _____

FAX番号： _____

メールアドレス： _____

お申し込み：9月2日（水）までに、電子メールまたはFAXでお申し込みください。

【お問合せ先】

静岡県立静岡がんセンター

「がんの社会学」に関する研究グループ 事務局

〒411-8777 静岡県駿東郡長泉町下長窪1007番地

電話：055-989-5222（内線 4371）

FAX：055-989-5793

E-mail：m.kojima@scchr.jp

※ 第2部とは申込先が異なりますので御注意下さい。